

2015年 4月8日

新宿区長 へ

法人名 認定NPO法人まちぼっと
 所在地 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル501
 (フリガナ) ササキ タカコ
 代表者氏名 理事長 佐々木 貴子 ㊞

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	さまざまな「区民」にできる、これからの社会貢献のかたち 一税控除を受けながら、手軽に社会貢献する方法一
実施日時又は期間	実行委員会； 2014年6月18日～2014年3月3日 全10回 企画実施日； 2月7日、2月25日、3月4日、3月21日
対象者の範囲及び人数	対象範囲； 新宿区民を中心とした社会貢献に関心のある市民及び、 お寺やキリスト教教会 対象人数； 各回25名程度
事業内容	<p>当事業は、2013年度に助成事業として開催させていただいた企画「新宿区から始まる、これからの社会貢献のかたち 一税控除を受けながら資産を社会に生かす方法一」の反省をもとに、さらに広く区民の皆さんに情報をお届けし、多くの方々へ税優遇制度を生かして資産の一部を社会や未来に生かす仕組みを伝えていくことを目指した。</p> <p>企画には、地域性と社会貢献における多様性が必要であるため、新宿区内に事務所を持つ市民ファンド「認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金」と「公益社団法人難民起業サポートファンド」のご協力を得た。また専門的な知見を得るために、NPOにおける会計分野と法律分野の第一人者である、早坂毅税理士と濱口博史弁護士のご協力をいただいた。企画は、3つの市民ファンドによる実行委員会形式で進めた。実行委員会は月に1回のペースで行われ、毎回の結果をもとに内容のブラッシュアップをし、また最新の社会状況とも照らし合わせていった。また、企画には新宿区社会福祉協議会からのご後援をいただいた。</p> <p>当初案では、40万円の助成申請で新宿の多様性を意識し「区民」を区の方針と同様に「在住、在勤、在学」と広く捉えて、対象を複数に絞った4回の企画を予定した。最終的に25万円の助成額となったために若干方向性を変え、①適切な対象を把握するための地域限定のアン</p>

	<p>ケート及びヒアリング調査、②それをもとにした 3 回の企画、③今後につなげるためのセミオープンの一ステークホルダー会議を行った。</p> <p>①ヒアリング及びアンケート調査</p> <p>区民と市民ファンドをつなぐ区内の団体や機能を探るため、新宿区商店街連合会・事務局長の佐藤雅英さんに区内の商店や地域社会の現状やキーパーソンについてのヒアリングを 2 回行った。同時に地域の町内会の方数人に、町内会の現状等についてのヒアリングを行った。また、早稲田地区を中心として、古くからある宗教団体（お寺、神社、キリスト教会）、商店街を対象に、社会貢献活動に関する 80 件のアンケート調査を行った。回収率は、商店街 3、宗教関係 4、計 7 件だった。ヒアリングとアンケートを行うにあたって専門家のご協力を受けた。</p> <p>それらから見えてきたことは、以下の通りだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会は組織的にすでに社会貢献活動を行っていて（共同募金など）、新たな分野への関心はあまり高くない。また、メンバーは多様な価値観を持っているため、意見をまとめることは困難である。 ・商店街は、商店の復興や後継者問題が重要であり「社会貢献」そのものへの優先順位はあまり高くない。 ・区内で古くから活動している宗教施設は、社会問題に関心が高く、社会貢献に対する親和性も高い。 <p>②3 回の企画を開催</p> <p>以上の結果を踏まえ、2013 年度に作成した分かりやすく社会貢献を説明する「市民ファンド講談」を持って、区内にある古くから存在する宗教団体に個別にご相談をした。その結果、3ヶ所のお寺と教会が企画への協力をして下さった。（企画内容は後述）</p> <p>③セミオープンの一ステークホルダー会議の開催</p> <p>地域に古くからある様々な宗教施設と NPO 法人、専門家が共同して地域の社会貢献を考えるとということは、非常に珍しいケースであるため、3 回の企画に協力してくれた皆さまと NPO 専門家の方々をお向けして、このような取り組みについての意見交換を行うステークホルダー会議を開催した。その結果、今後も共同してこのような取り組みを地域内で行う方向で意見がまとまっている。</p>
<p>具体的な活動状況</p>	<p>実行委員会)</p> <p>実行委員会は、以下の日程で行われた。</p> <p>2014 年 6 月 18 日、7 月 24 日、8 月 13 日、9 月 3 日、10 月 8 日、10 月 28 日、12 月 9 日</p> <p>2015 年 1 月 7 日、2 月 2 日、3 月 3 日 全 10 回</p> <p>アンケート内容) 別紙</p> <p>企画)</p> <p>●第 1 回；お寺で考える 「エンディングノートと、みんなの安心」</p> <p>日時；2 月 7 日（土）13:00～15:00</p> <p>場所；一心山 専念寺</p> <p>内容； 1) エンディングノートの活用 ～” 私の思い” を託す～ 羽場真美氏（生活クラブ生協 F P の会）</p> <p>2) 相続税増税の最新情報と、「志」を社会に役立てる方法</p>

早坂毅氏（税理士）

3) となりに暮らしている難民の皆さんを知っていますか？

吉山昌氏（難民起業サポートファンド）

来場者； 21名

●第2回； 牧師カフェ「講談で楽しく知る、NPOの活動」

日時； 2月25日（水）12:00～14:00

場所； 日本福音ルーテル 東京教会

内容； 1) 講談「カミサマの帰るところ」

神田織音氏（講談師）

× 菅波完氏（高木仁三郎市民科学基金）

2) 恵まれない子どもを支援するNPO

森山誉恵氏（特定非営利活動法人 3Keys）

3) 牧師のお話し

来場者； 35名

●第3回； お彼岸企画「講談で楽しく知る、新宿区でできる社会貢献」

日時； 3月21日（土）12:30～14:30

場所； 常円寺

内容； 1) 講談「カミサマの帰るところ」

神田織音氏（講談師）

× 奥田裕之氏（NPO まちぼっと）

2) となりに暮らしている難民の皆さんを知っていますか？

吉山昌氏（難民起業サポートファンド）

3) 常円寺・執事長さんとの対談

及川一晋氏（常円寺 執事長）

× 奥田裕之（NPO まちぼっと）

来場者； 26名（その他に、外から見ていた方が多数）

●セミオープン会議

日時； 3月4日（水）16:00～18:00

場所； 桜美林大学 四谷キャンパス

内容； 新宿区内の宗教法人、市民ファンド、専門家等、NPO 関係者を交えたセミオープン企画

参加者； 及川一晋 執事長（常円寺）

小沼久志 住職（専念寺）

関口和寛 牧師（日本福音ルーテル東京教会）

中山るりこ氏（NPO 法人ロータスプロジェクト）

池本圭子氏（NPO 法人シーズ）

高橋仁氏（新宿区地域文化部地域調整課）

濱口博史 弁護士

早坂毅 税理士

菅波完氏（NPO 法人高木仁三郎市民科学基金）

吉山昌氏（公益社団法人難民起業サポートファンド）

奥田裕之、樋口蓉子（NPO 法人まちぼっと）

事業の成果	<p>助成 2 年目の今回の事業では、狭い範囲ではあるがヒアリング及びアンケート調査を行い、その内容を事業の実施に結び付けた。結果として、新宿内ではほぼ 100 年以上存在し、檀家・信徒や地域社会に対する社会的な関わりを長く行ってきたお寺と教会で協働企画を行うことができた。地域にあるお寺や教会が、宗教の枠を超えて NPO と協働して、ともに社会貢献活動を行う取り組みは珍しいと考えられる。市民ファンドという仕組みは、ソーシャル・ビジネス型ではない NPO と、お寺や教会のような地域に存在する社会的な機能を結び付ける可能性があるのではないかとと思われる。</p> <p>3 回の企画への参加者は、教会やお寺の関係者以外に地域住民の参加も多かった。このことは開かれたお寺や教会の展開という点で、僧侶や牧師の皆さまから評価を受けた。企画内容は、昨年度の成果を活かした分かりやすいもので、参加者からも良い評価をいただいた。</p> <p>参加者から、その後少額のご寄付をいただく方も出てきた。遺産や遺贈などのご検討については、長期的な視点でないと結果が出ないが、何人かの方からは検討するというご意見をいただいている。</p> <p>地域で信頼されている宗教組織と NPO の協働は、宗教組織側・NPO 側ともに、社会に対して何らかの形で貢献する組織という方向性の合意はできつつも、互いの文化や状況が分からず、各回とも手探りで企画を行った。企画を協働で行ったことと、セミオープンな会議で相互の信頼関係は少しずつ構築出来ていると考えられる。</p> <p>全体を通して、様々な分野のステークホルダーからの評価は高かった。地域の中で、市民ファンドというスキームを通じて NPO と宗教組織が協働し、多様な区民に社会貢献の手法と内容をお伝えする今回の内容は、今後発展していく可能性が高いと考えている。</p> <p>協力してくれた新宿区の宗教者の皆様は、今後も協力をしてくださるとのことなので、次年度も引き続きこのような取り組みを行っていききたい。</p>
-------	--

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			186,898 円
	参加費・資料代等	お寺と教会を無料で会場をご提供いただいた意向もあり、参加費無料とした		0 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		250,000 円
	計			436,898 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	8,200 円	実行委員会会議室（ASK ビル4階）500 円×10 回 2014 年 6 月 18 日、7 月 24 日、8 月 13 日、9 月 3 日、 10 月 8 日、10 月 28 日、12 月 9 日、 2015 年 1 月 7 日、2 月 2 日、3 月 3 日 500 円×10 回=5,000 円 各 13:00~16:00 会議用資料コピー代 @4 円×800 枚=3,200 円	
	宣伝費	36,430 円	チラシカラーコピー @40 円（両面）×300 枚×2 回 24,000 円 外部印刷 12,430 円 グラフィック	
	消耗品費	15,000 円	長 3 封筒 @5 円×800 枚 =4,000 円 コピー用紙 1 円×3,000 枚 =3,000 円 印刷機インク代 8,000 円	
	謝礼	180,000 円	講談師謝金 30,000 円×2 回=60,000 円 （神田織音・イズモトヨシエ） 専門家謝金（難民起業サポートファンド、早坂税理士、 濱口弁護士、菅波完） 4 名×2500 円×4 回=40,000 円 *各 2 月 7 日、2 月 25 日、3 月 4 日、3 月 21 日分 NPO 法人 3keys 10,000 円 *2 月 25 日 生活クラブ生協 FP の会 15,000 円 *2 月 7 日 NPO 法人ロータス・プロジェクト 5,000 円*3 月 21 日 チラシデザイン・作製、企画デザイン 全 3 回/全体で 30,000 円 佐々木美貴 アンケート調査 20,000 円 小針憲一	

人件費	75,000 円	まちぽっと人件費 2 名 (奥田裕之、辻利夫) @4,000 円×14 回×2 人 (企画 4 回+実行委員会 10 回・準備含め各 4 時間) =112,000 円 まちぽっと人件費 1 名 (奥田裕之) @4,000 円×6 回×1 人 (講談師打合せ 2、専門家打合せ 4・各 4 時間) =24,000 円 講談師打合せ (9 月 10 日、12 月 22 日 13:00~17:00) 専門家打合せ (9 月 1 日・2 日、12 月 14 日・15 日各 13:00~17:00) *以上 136,000 円のうち、 <u>75,000 円を計上</u>
材料費	24,800 円	講座資料コピー代 200 円×40 人×3 回 +100 円×8 名×1 回
交通費	18,272 円	奥田/講談師打合せ 往復 618 円×2 回 = <u>1,236 円</u> 東新宿 ⇄ 大山 奥田/濱口弁護士・相談 往復 390 円×2 回= <u>780 円</u> 東新宿 ⇄ 神谷町 奥田/早坂税理士・相談 往復 1,338 円×2 回= <u>2,676 円</u> 東新宿 ⇄伊勢佐木長者町 奥田、辻 セミナー交通費 <u>3,480 円</u> 第 1 回 新宿⇄若松河田 348 円×2 名×5 (打合せ 4 回、企画 1 回) 奥田、辻 ヒアリング調査・地下鉄一日乗車券 700 円×2 <u>1,400 円</u> *以上、奥田 7,132 円、辻 2,440 円 菅波、吉山/実行委員会 往復 330 円×10 回×2 名 <u>6,600 円</u> 四ツ谷⇄東新宿 2/7 講師交通費 (藤井智子) <u>2,100 円</u> 大和田⇄早稲田
その他諸経費	18,196 円	振込手数料 6 回 2,052 円 企画資料購入 820 円 第 3 回 印刷資料、物品搬入タクシー代 1,630 円 アンケート調査費用 (メール便 6,642 円、切手代 7,052 円) 13,694 円
助成対象事業費 (小計)	375,898 円	
余 剰 金	0 円	
助成対象外事業費	61,000 円	人件費 (20%を超える金額) 61,000 円
事 業 総 額		436,898 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
<p>事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。</p>	<p>今年度の企画は、昨年度の成果を活かしながら、さらに広く区民の方の社会貢献に関する関心を促し、税優遇制を活かした寄付の仕組みを知っていただくことを目標とした。そのため、新宿区の多様性を意識し、在住・在勤・在学の区民に対して、どのようなアプローチが有効なのかを把握するために、アンケート調査及びヒアリングを行った。</p> <p>その結果、地域内に古くから存在し、社会貢献も行ってきたお寺やキリスト教会を市民ファンド機能を活用した社会貢献活動に巻き込み、協働する新たな形が有効だろうと考え、3つのお寺や教会と間で協働企画を行った。双方とも初めての試みだったため、相互理解に多少の時間はかかったが、協働企画とセミオープン会議の開催によって、弁護士や税理士などの専門家を含む信頼関係が形成された。</p> <p>広報を、区報掲載、社会福祉協議会の機関紙、チラシ撒き、お寺や教会関係者への情報提供などで行った結果、82名の参加があった。このようなテーマについて初めて聞いたという参加者が殆どであり、新たな層への情報提供ができたのではないかと考えている。</p>
<p>地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。</p>	<p>参加した区民に対する効果に加えて、お寺や教会の中で地域に根差した顔の見える企画として開催したことが、協力いただいたお寺や教会からも信者以外にも「地域に開かれた場」として施設が活用されたという点で評価された。</p> <p>地域に100年単位で存在し続けるお寺や教会を通じて様々な区民に社会貢献の大切さを伝える第一歩ができたことは、長いスパンで見たときに大きな効果となるのではないかと考えている。</p> <p>すぐに大きな結果を出す取り組みではないが、今後も引き続き活動と企画を行うことで、地域社会が少しずつ変化していくことを期待している。</p>
<p>費用対効果は適正であったか。</p>	<p>25万円の助成金は、主に講談師及び登壇者への謝礼と広報費、アンケート費用に活用した。アンケート及びヒアリング、3回の企画、1回のセミオープン企画をこの予算の中で行い、関係者とのネットワークの創出、82名の企画参加ができたことは、費用対効果として適正だったと思われる。</p> <p>ただし予算の関係上、アンケート調査エリアはかなり限定されたものとなった。</p>

<p>新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。</p>	<p>現代社会では、普通に暮らしていても、地域の中の多様な問題点やそれを解決しようと努力している NPO 活動を知ることは難しい。</p> <p>その中で古くからある良心的な宗教施設は NPO 活動との親和性が高いと考えられるが、これまで地域で協働することはあまりなかった。今回のネットワークを展開させることは、地域課題を区民自ら解決する新たな一つの仕組みとして価値が高いのではないかと考えている。</p>
<p>理解者や支援者が広がったか。</p>	<p>当初から協働している新宿区の 2 つの市民ファンド、非営利セクターに関心の高い税理士や弁護士などの専門家に加えて、新宿区社会福祉協議会、全国市民ファンド連絡会、桜美林大学（四ツ谷校舎）、区内の複数の宗教者の皆さんから、ご支援をいただいた。</p> <p>また企画参加者の方々も、アンケート結果から理解者になっていただけたと考えている。</p>
<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>事務局の執行体制は十分だったが、資金的な限界で専門家の皆さまのボランティア体制への負担が大きすぎた。実際に仕事をお願いした際には、ある程度の謝礼をお支払いできる体制を組んでいきたい。</p>
<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>今回ご協力いただいたお寺や教会からは、社会貢献として場所や広報を無料でご提供いただける体制を得ることができた。この取組みが広がれば、関係者や参加者の皆さまからのご寄付を得ることが可能になり、事業としても継続できると考えている。</p>
<p>その他</p>	

4 活動の成果

今年度の事業は、昨年度作成した「講談師、専門家の協力による、税優遇制度を活用した社会貢献の説明ツール」を使って、市民活動に強い関心のあるわけではない一般の区民の皆様へ、NPO活動を支える必要性を知っていただくことを目指した。そのような目的のためには、間に入っていただく地域機能が必要だと考え、新宿区内で長期間にわたって地域活動をしているお寺や教会と協働して企画を行った。一人一人の区民に大きな成果をすぐに出すことは難しいが、少しずつ新宿ならではの寄付文化が広まっている。また、このような方法論は今後の地域社会に非常に有益な可能性を持っていると考える。

活動を進めるに当たって、多様な専門家、区内のNPO団体、新宿社会福祉協議会、大学、日本全国の市民ファンドなどに加えて、新たに新宿内のお寺や教会から協力を得ることができた。これからの多様なステークホルダーによる、新宿区内でのネットワーク形成自体が貴重な成果となったので、今回のネットワークを活かして次年度も企画を開催したいと考えている。

*参加者の意見抜粋

- ・大変役に立ちました。とても分かりやすく、引きつけられました。
- ・若い人たちも含めて、出会うこと・知ることの大切さを確認しました。
- ・現在、遺言信託や終活などを行っています。自分の死亡後の整理についてもっと知りたいと思います。
- ・残された母の最期のことを見えて参加しました、もっと詳しく知りたいと思います。
- ・お寺さんが会場であることと、内容に関心があって参加しました。今後も区内におこる問題を皆さんと考える時間を作っていただければ幸いです。
- ・市民ファンドの存在、活動内容を知ることができて良かった。区内の市民活動団体や市民ファンドについてもっと知りたいと思いました。



第1回 専念寺



第2回 ルーテル教会

- *添付資料1 チラシ
- *添付資料2 アンケートフォーマット



第3回 常円寺